

『フランス巡礼記（ハグ）』2018・5・22～6・1

巡礼に同行予定であったウィリー神父様が諸事情により同行出来なくなったため、急遽私が成田出発組のリーダーとして、私を除いた6名の成田組をパリまで誘導する形となり、今までスタッフとはいえ誰か頼る人がいた私にとっては、まさにド緊張という巡礼の始まりであった。何とかパリに着いたものの関空組と合流するパリ・シャルルドゴール空港の広大すぎるゲートを探し出すのに四苦八苦。巡礼ツアーのオーナー松村氏（夫の代夫でもある方）と関空組スタッフの平井さんと無事に合流出来た時の歓喜と一仕事終わったような安堵でハグ。（まだ巡礼の戸口にも立っていないのに（笑））。そしてツールーズに降り立った私たちを国際ガイドの免許を持ったベテランガイドのシールさんが出迎えて下さり嬉しくなって再再再会に思わずハグ。忍耐強く見守って下さった成田組に感謝の初日となりました。（心の中で全員にハグ）

ルルド修道院での2日半、ルルドの軌跡日本人第1号に認定調査進行中の原さんと2年ぶりの再会でハグ！日中の沐浴、夜のロウソク行列でいつも列の最後尾になられる京都のTさんとずっと腕を組み同伴していると、仲の良い夫婦？親子？と思われたのか、いきなり若い外国人女性二人に何度もハグされ、頬擦りと頭をナデナデされてびっくり！私より10歳年上のTさんの照れて嬉しそうな顔…可愛かった！

また御年90歳になろうかというパウロ神父様の柔和で温かな眼差しと、時折発するユーモア抜群の一言。ミゼリコルディアの旗を持っている私を「現在のジャンヌ・ダルクですわね。」「この旅の守護の天使ですわね。」と仰って頂いて、疲労も吹き飛ばして行きました。上記Tさんの荷物を持ってあげて相手が遠慮しないように、まもなく90歳とは思えない全力疾走で先を行く神父様。その慈愛あふれる行いに、この巡礼の真実を見た思いがして、胸があつくなりました。パウロ神父様との出合いに心から感謝しました。ハグ！

今回、ルルドの修道院を始めヌヴェール、カルメル会の宿泊施設に泊まる事が多かったことも嬉しいことでした。民間のそれとは違う温かさとして静寂。そして中庭の美しさや鳥のさえずり。巡礼ならではの交流…言語は違ってもすれ違う巡礼者と交わす笑顔と「ボンジュール」の挨拶。

これまで5度の巡礼に参加しながらまだ訪れたことのなかったテゼ共同体で2500人の若者と一緒にお祈りしたこと、そしてその若者たちと同じ配給される給食をピクニックのように炎天下で頂いたこと（お陰で黒くなって帰ってきました）。マスターの美味しさ世界一のディジョンの三位一体のエリザベトの聖ミカエル教会での現地ミサに参加したこと、アランソン村の懐かしいような田舎の匂いとそこで頂いた元三ツ星ホテルで働いていたシェフのフレンチの美味しかったこと（ギャップにびっくり）、幼きイエスの聖テレーズ（小さき花のテレジア）の生家や育った家の訪問、テレーズが洗礼を受けたバジリカ大聖堂でのミサ、リジュのカルメル会修道院訪問、ノートルダム大聖堂、サクレール寺院の巡礼、訪れた先々の教会のステンドグラスのあまりの素晴らしさに表現する言葉も思い当たりませんが、息をのむ美しさで大迫力でした。そして最終日には、何とノートルダム大聖堂での現地ミサに参加し、この巡礼の無事を感謝することができました。

あまりにも盛りだくさんの巡礼とお恵みに巡礼に参加できた喜びと同時に、参加したくても出来ない人、事情などを思い、共に祈って参りました。巡礼に出かける前にいつも祈って来てくださいと教会を訪れるTさん（未信者）、そしてルルドの飴を余命の限られた息子さんに食べさせてあげたいと願われて、間に合わなかったAさんのためにもお祈りを捧げました。巡礼は出かけていくものだけのものではないといつも思います。そこに託された祈り、願いを受け止め、しっかりとその役割を担っていくことも巡礼の大きな役目であると信じます。

今回の巡礼には、私が15歳の時に出会い一緒に九州から上京し、高校・看護学校で共に学んだ50年来の友人が、定年退職を機にご主人と参加して下さい、昨年と今春天国に旅立った同級生の慰魂と一緒に出来たことも私と友人のこの巡礼での大きな目的と大きな慰めとなりました。友人はずっと巡礼に出かけることを切望しておりましたので、この巡礼に参加できたことを心から感謝しておりました。お別れに感謝のハグ。

また今回の巡礼を企画されたクラレチアン会のヤマス神父様のコーラス隊が果たされた役目も大きかったと思いますし、音楽の奏でる力…それは神奈川からこの巡礼コンサートのためにいらしたプロサクソホン奏者、坪山健一氏（高山右近列福記念歌の作詞作曲者）の音楽と歌唱に音楽音痴の私が魂が吸い込まれ鳥肌が立つ程に感動しました。この感動を皆様にも分かち合いたいと坪山氏に話したら、「いつでも行きますよ。フィリピンの子供のためにチャリティーですが…」と仰って下さいました。いつの日か皆様と素晴らしい魂の分かち合いができますようにと切に願います。

沢山のエピソードと共に、沢山お世話になりました。最後に巡礼仲間一人一人とハグをして、またの再会を誓って帰途に着きました。感謝！！

四ツ家教会：佐藤 あつみ